

2018年3月

ねん かつ
れき し
歴史 — No. 16

けんぱくものしりシート

もりおかはんさんきんこうたい ずかん 盛岡藩参勤交代図巻



え ど ぼく ふ ぜんこく だいまよう さんきんこうたい めい さんきんこうたい だいまよう
江戸幕府は全国の大名に参勤交代を命じました。参勤交代は、大名たち
いちねんかんくに く つぎ いちねんかん え ど げんざい とうきょう しょうぐん つか
が一年間国もとで暮らし、次の一年間は江戸(現在の東京)で将軍に仕える
という制度です。



もりおかはんさんきんこうたい ずかん こじんぞう
『盛岡藩参勤交代図巻(個人蔵)』

もりおかはん とのさま さんきんこうたい さい もりおかじょう しゅっぱつ おうしゅうどうちゅう げん
盛岡藩の殿様も、参勤交代の際には盛岡城を出発し、奥州道中(ほぼ現
ざい こくどう ごせん とお え ど とうきょう り やく みち やくに
在の国道4号線)を通り、江戸(東京)までの139里(約556km)の道のりを約二
しゅうかん い どう だいまようぎょうれつ てっぽう やり ぶき どう
週間かけて移動しました。大名行列は、鉄砲や槍、よろいなどの武器や道
ぐ ながたび ひつよう いるい やくひん はこ かしん さむらい あし
具、長旅に必要な衣類や薬品などが運ばれ、それにともない、家臣の侍や足
がる てっぽう も かたなばん いしゃ おおひとびと くわ
軽、鉄砲持ちや刀番、医者など、多くの人々が加わりました。

いっぽう え ど だいまよう やしき え ど けいざいてき はってん
一方、江戸には大名の屋敷がおかれ、江戸が経済的に発展することになり
ました。また、大名が領地と江戸を往復することで、全国の交通が発達し
ました。

え まき もりおかはん さんきんこうたい ようす こま せいかく えが とうじ
この絵巻は、盛岡藩の参勤交代の様子が細かく正確に描かれていて、当時の
ようす し きちょう ぶんかざい
様子を知ることができる貴重な文化財です。

では、もりおかはん さんきんこうたいぎょうれつ ようす
盛岡藩の参勤交代行列の様子をみてみましょう。



しろとり げ やり ひだり しろ
白鳥毛槍(左)は白クマ
け くのり げ やり みぎ くの
の毛、黒鳥毛槍(右)は黒
とり げ でできた さや
い鳥の毛でできた鞆をつ
けたかざり槍です。行列
を華やかにして競ってい
ました。



いぬ たか
犬と鷹も
お供して
います。

ひょうじょう
表情も
ゆたかです。

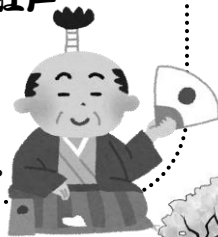


はん しるし
藩の印をいれた
ごう か どうく
豪華な道具がた
くさんあります。



このようにせいぜん こうしん じょうかまち
整然と行進するのは城下町や
やど ちか ぎょうれつ いちにち
宿の近くだけでした。行列は、一日に30
~40 kmをすすみました。江戸到着が遅れる
ときび ばっ せとく
と厳しく罰せられたので、時速5~6kmと、
とても早足だったようです。

もりおかはんしゅ なんぶ しげなお
わたしは盛岡藩主の南部重直。
さんきんこうたい とのさま つま こ ひと
参勤交代は、殿様の妻や子は人
じち えて のこ
質として江戸に残すまりだ
った。そのことで、絶対に幕府
に刃向かわせないうらにして
いたんだ。だから、江戸
で生まれたわたしは
大きくなってから
もりおか き
盛岡に来たんじゃよ。



え と さんきんこうたい あつ
江戸では、参勤交代などで集まる
はな だいまりぎょうれつ しよみん
華やかな大名行列を、庶民が
けんぶつ にちじょうてき
見物するのも日常なことでした。
『武鑑』とよばれる各大家の
データをもとめたガイドブックも
あったというからおどろきですね。



さんこう
参考 『別冊 歴史REAL 歩く・観る・学ぶ 参勤交代と大名行列』株式会社洋泉社 2012年/
『シリーズ藩物語 盛岡藩』株式会社現代書館 2006年他

らいげつ がつ
来月(4月)の
けんぱくものしりシートは
みんぞく
民俗-16だよ!
おたのしみに!



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>